

| | | | | | | | |
|---|--|-----|-----|----------------------------|--------|-------------------|----|
| 授業科目 | 国際関係特講 International Relations | | | 担当教員 | 滝 知則 | | |
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2単位 | 開講年次・時期 | 1・2年前期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | |
| <p>国際観光では、ゲストの文化とホストの文化の出会いが数多く起こる。このためゲストとホストの双方に、相手の文化への寛容さが求められる。こうした寛容さをより確実なものとするためには、交流相手の歴史の理解、さらにはゲストの出身国とホストの出身国の国際交流史の理解のあることが望ましい。</p> <p>この科目では、インバウンド観光客を対象とした観光コースを制作し、インバウンド観光客の受入にともなう文化的な諸課題の解決に取り組む。課題解決策を探る過程で、国際関係の理解を活用する。</p> | | | | | | | |
| 観点 | 学生の授業における到達目標 | | | 評価手段・方法 | | 評価比率 | |
| 関心・意欲 ・態度 | 授業への積極的な参加を、継続して行うことができる。 | | | 復習課題 小レポート プレゼンテーション | | 10% 15% 15% | |
| 思考・判断 | インバウンド観光客の受入にともなう文化的な諸課題の解決方法を、論理的に説明できる。 | | | 研究レポート | | 30% | |
| 技能・表現 | | | | | | | |
| 知識・理解 | ①ゲストとホストの文化の特徴と意義を、歴史的背景を踏まえて説明できる。 ②国際関係論の基本的な概念を正確に用いることができる。 | | | 研究レポート | | 30% | |
| 出席 | | | | | | 受験要件 | |
| 合計 | | | | | | 100% | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <p>研究レポートを課す（評価比率60%）。授業への積極的な参加の度合いを平常点で評価する（復習課題10%、小レポートの提出15%、プレゼンテーションの実施15%）。</p> | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講生は交代でレジュメを作成し、授業で報告する。報告の後、質疑応答を行う。 2. 第5週～第9週の間、現地調査を行う。調査対象地は、受講生と指導教員が協議して決定する。長崎県内の観光地を主な候補とする（ただし県内に限定するものではない）。 | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：指定しない。 参考書：指定しない。適宜指示するか、プリントを配布する。</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分自身の経験や関心に基づいたり、日々の報道（新聞、テレビやインターネット）に注目したりして、現在の国際関係の課題、ならびにインバウンド観光の文化的な課題に何があるかを把握する。なおマスメディア報道のソースにさかのぼることも期待する。 2. 日本の国際観光（アウトバウンドとインバウンド双方）の動向にも注意を払うこと。 | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|---------------------------|--|---|
| 1 | イントロダクション [双方向] | ①この科目のねらい、テーマとスケジュールの確認、 ②調査対象観光地の選定、③プレゼンテーション（第14回）の説明・指示 | （予習）シラバスを読む（復習）対象観光地の基本情報をまとめる |
| 2 | どこから、どの観光地へ？ (1) [双方向] | 調査対象の観光地には主にどこから、何人が訪れるか。 | （予習）「どこから、何人」を調べる（復習）学修結果のまとめ（次回提出、以下同） |
| 3 | どこから、どの観光地へ？ (2) [双方向] | 観光客は、観光地で主にどのようなことをするか。 | （予習）「主にどのようなことを」を調べる（復習）学修結果のまとめ |
| 4 | どこから、どの観光地へ？ (3) [双方向] | 課題の抽出・整理、現地調査の準備を行う。 | （予習）課題の抽出・整理（復習）学修結果のまとめ |
| 5 | 観光客のニーズは何か？ (1) [双方向] | 観光客にとってのニーズには何があるか？対応できていないものは何か？（交通、宿泊） | （予習）交通・宿泊面のニーズを調べる（復習）学修結果のまとめ |
| 6 | 観光客のニーズは何か？ (2) [双方向] | 観光客にとってのニーズには何があるか？対応できていないものは何か？（食事、買い物） | （予習）食事・買い物面のニーズを調べる（復習）学修結果のまとめ |
| 7 | 観光客のニーズは何か？ (3) [双方向] | 観光客にとってのニーズには何があるか？対応できていないものは何か？（その他の要素） | （予習）その他のニーズを調べる（復習）学修結果のまとめ |
| 8 | 観光客のニーズは何か？ (4) [双方向] | 課題の抽出・整理、現地調査の準備 | （予習）課題の抽出・整理（復習）現地調査準備の確認 |
| 9 | 現地調査 [実地] | 第2週～第8週の予備調査を踏まえ、現地調査を実施する。 小レポート(1) 第2週～第9週の学修成果 | （予習）現地調査の準備（復習）小レポート制作 |
| 10 | 観光客の出身国の歴史と文化(1) [双方向] | 観光客の出身国の歴史の基本を調査する。 | （予習）歴史の基本を調べる（復習）学修結果のまとめ |
| 11 | 観光客の出身国の歴史と文化(2) [双方向] | 観光客の出身国の文化の基本を調査する。 | （予習）文化の基本を調べる（復習）学修結果のまとめ |
| 12 | 観光客の出身国と日本の国際関係史(1) [双方向] | ①朝貢体制、②ポルトガル人・オランダ人・イギリス人の到着、③主権国家体制 | （予習）①～③の3項目を調べる（復習）学修結果のまとめ |
| 13 | 観光客の出身国と日本の国際関係史(2) [双方向] | ①世界大戦の時代、②冷戦、③グローバル化の時代 小レポート(2) 第10週～第13週の学修成果 | （予習）①～③の3項目を調べる（復習）学修結果のまとめ |
| 14 | プレゼンテーション [双方向] | 解決すべき課題と、その背景ならびに解決策を説明する。 | （予習）課題、その背景と解決策（復習）学修結果のまとめ |
| 15 | むすび [双方向] | 学修の成果をふりかえる。 | 研究レポートを作成する |